

## 平成 30 年 9 月定例記者会見

### 1. 記者会見

#### 【 説 明 】

#### 〔家庭教育支援チームが「たけのこフェスタ」を開催します〕

**市長** 一つめは「たけのこフェスタ」です。昨年に「家庭教育ワークショップ」として、学校以外の地域で子ども達をどのように見守り成長させていくのかというのが視点で、学校の先生やOBや子ども関係でいろんな取り組みをしている方、子どもの預かりっこをしている方、民生児童委員などに集まっていたいただき、ワークショップを数回重ねてきました。生駒市のワークショップは、アイデアを出してもらっておしまいというのではなく、何か具体的なアウトプットに繋げていこうと、行政だけがやるのではなくて、行政と市民が力を合わせて何か具体的なものをするということを前提に行っています。

今回はまずは「たけのこフェスタ」というイベントをやります。この場で集まられてまた、次の展開が出てくるというのを期待しております。9月30日にコミュニティセンター文化ホールで行います。是非こちらの方もお越しください。皆さんで考えて頂いた成果ですので、是非よろしくお願いします。

#### 〔「オンリーワン研修～特別編～」を開催します〕

**市長** オンリーワン研修は28年度から3年目になりますが、全国を代表するような非常に面白い取り組みをしている公務員に来ていただいて、いろんなお話を聞き、職員が地域でいろんな活動に繋ぐことができるといことでやっています。今年も人事課が頑張ってくれて、すばらしいメンバーが揃っています。5回の開催で資料にあるような日程、講演者、テーマで行います。朝来市の馬袋(ばたい)さんは、地域のコミュニティの活動で有名です。脇さんは総務省の方ですが、自治体へ出て自治体と国を繋げる「47(よんなな)会」という取り組みをしておられます。メディアにもよく取り上げられています。東近江市の山口さんは、森、里、川、海と環境や地域包括ケアの取り組みの第一人者です。生駒市も堺市の取り組みを参考にさせてもらっていますが、その現場で頑張っておられる堺市の2人を、また、天理市の「コフフン」の取り組みも非常に面白いと思います。是非ご取材ください。

#### 〔生駒市職員採用試験の実施状況〕

**市長** 生駒市の採用試験の現状の報告です。大学卒業者を対象としたものは既に終わっていますが、社会人対象枠、短大・高校卒業枠、任期付職員につきまして、これから順次面接を行っていきます。新卒で来る職員もちろんですが、市の職員の人材は、多様性があった方が強みになると思っています。社会人対象枠や障がいをお持ちの方も含めて生駒市ではしっかりと採用していきたいと思っています。

#### 【 質 疑 応 答 】

#### 〔「オンリーワン研修～特別編～」を開催します〕

**記者** オンリーワン研修は50人程度ということですが、全員含めて50人ですか。市民枠はどのくらいですか。

**市担当者** 基本的には50人以上来てもらってもけっこうです。

**記者** 市民は何人来てもいいんですか。

**市担当者** 何人でも大丈夫です。

**記者** 奈良市民は来ていいの？

**市担当者** 基本的には生駒市民だけです。

**記者** 県外から来てもいいの？

**市担当者** 公務員ならいいですが、市民は生駒市だけです。

**記者** 他市の職員も専用フォームから申し込むのですか。

**市担当者** 基本的には専用フォームからですか、それ以外の申し込みも臨機応変にしております。

**記者** 去年は市民には開放しなくて、今年からですか。

**市長** 去年から市民には開放しています。

**記者** 市民が聞くとどんなメリットがありますか。まちづくりのヒントを市民が学ぶの？

**市担当者** 生駒市行政に関心のある方も沢山おられますし、地域の取り組みをしている方もおられるので、それをまちづくりのヒントとして地域でいろんな取り組みをしてもらえenと思います。

**記者** まちづくりのヒントを行政ではなくて市民が学ぶということは。

**市担当者** 生駒市では市民はお客さんではなく、いっしょにまちづくりをしてもらう担い手なので、市民との協働ということで市民の方にも興味を持って頂ける内容ではないかと思っています。

**記者** 研修名のオンリーワンは何がオンリーワンなんですか。

**市担当者** 地域で特徴のある尖った活動をしている人なので、一人しかいない、独自の取り組みをされている公務員ということです。

## 2. その他

### 〔小中学校へのエアコン設置〕

**記者** 生駒市は来年エアコンを設置することを理解した上なんですけど、エアコンの普及率が全国は50%なのに、奈良県は7%でした。なぜ奈良県だけ設置が遅れたのか、どう思われますか。

**市長** 生駒市では学校のハード面の最優先課題が、耐震改修でした。高度経済成長時代に全国でトップ10に入るぐらい人口が急増したので、1年にふたつの学校を建てたこともありました。これらについては、以前の耐震基準で造ったものも多く、その結果耐震や大規模改修を優先的に進めてきました。この部分では、他の自治体に負けないスピードで整備出来たと思います。その他、トイレの洋式化やエアコンの優先順位の議論はかなりありましたが、トイレの洋式化を望む声が多かったのでそれを優先しました。ただ、今年のような暑さを想定していなかったのは事実です。私も驚きましたが、去年でも過去平均から3.9℃気温が違うと、今年は更に5.1℃違うということですし、タイミング的にも夏休みに入る前に暑くなってしまったということで、前提条件が今年大きく変わったということが言えると思います。

**記者** 5.1℃違うというのは何が根拠なんですか。

**市長** 気象庁のデータで30年前と比べました。

**記者** 生駒市の遅れた理由は分かりましたが、奈良県全体が遅れた理由はどう思われますか。

**市長** いくつかリーダーシップをとって動く自治体があれば広がっていきます。県内では耐震化やト

イレの洋式化の優先があったのだと思います。

**記者** 生駒市が早い時期に設置の表明しましたが、他の自治体から参考にしたいなどの問い合わせはありましたか。

**市長** 担当課には問い合わせがあったと思いますが、直接私にはありません。

**記者** 耐震化や大規模改修は、全国的に首都圏や関西圏にもある訳で、生駒市だけが悪い条件とは思えないんです。半分以上の自治体は整備したので、それ以外にも理由があるのでは？

**市長** 何を優先するかは差だと思います。例えば大阪ではエアコン設置は進んでいましたが、他の教育の面、例えば給食では遅れていました。生駒市は、ハードは最低限安全ということをしかりし、エアコン以外は他自治体に負けなくらいの対応、例えば英語教育や発達障害児対策などを行っています。今年の暑さで、エアコン整備を早急にやるということになったということです。

**記者** 教育全体をみると、取り組みはやってきたということですか。

**市長** 就任以来 5～10 億円くらい予算を増やし、教育には力を入れてやってきています。教育全体では前向きにやってきていると思いますが。

**記者** 平成 22 年は猛暑で、その年にエアコンをつけた自治体が多くあり、例えば設置率 97%の香川県や東京都などでは、翌年に予算化しているところがありました。奈良県も暑かったのに、そういう議論はありませんでしたか。

**副市長** 当時、生駒市では病院問題があり、議会や市の関心もそちらの対応が主でした。

**記者** 市長の考えを聞きたいのですが、「エアコンは子どもには必ずしも必要ではないのでは。丈夫な体ができないのでは。」という意見がありますが、どう思われますか。

**市長** 室内にいるときはエアコンを使ったらいいと思います。ずっと中に閉じこもるのではなくて、熱中症の危険がなければ外で遊ぶなどすればよいと思います。

**記者** 今年の夏を経験しなければ、子どもの健康を考えたときにはどうですか。

**市長** 快適な環境で勉強するのが一番だと思います。

**記者** 生駒市では熱中症の事故がありましたが、あの時以降もエアコンは議題になかったのですか。

**市長** あの事故は外でのクラブ活動中だったので、あの事件があったから教室のエアコンをどうするかというよりは、むしろクラブ活動の適切なあり方を考え直す契機となり、改善もしています。直接的には教室のエアコンの話にはなりません。

**記者** 当時エアコンの設置状況の低さを知っていたら、違う方向になりましたか。

**市長** 保健室や職員室にはエアコンがあり対処はできる状態だったと思います。

### 〔生駒台南 8 歳児暴行死事件〕

**記者** 先日、生駒台南で男の子が亡くなりましたが、それについての市長の受け止めと今後の対応で考えておられることがあればお願いします。

**市長** 小学校 3 年のお子さんの痛ましい事件で、大変辛く思っています。どうしてこういうことになったのか。学校からも聞いておりますが、非常に家族も仲よくされていて、その子も元気に学校に来ていたということですので、何か日常的に暴力があったご家庭ではないということです。偶発的なことだと思っています。家の中ことまで全ては分かりませんが、学校に来ている日頃からの様子では、問題が見受けられない家庭だったというふうに聞いています。そういう背景なので、市で何ができるのが難

しい事案ですが、怒鳴らない子育てなどアンガーマネジメント講座などを丁寧にやっています。受講者も多くて比較的人気のある講座と聞いています。市内全部の親御さんに受けてもらうことは難しいですが、そういう講座をもっと知ってもらうにはどうすればよいかということを考えています。生駒市ではそういう取り組みをより充実させていきたいと思います。

**記者** 現時点では第三者委員を設けるという話はありませんか。

**市長** 児童虐待の事案であればそういう場を設けますが、今回は置く必要性はないと思っています。

(了)